

## 【概要】

# 2017年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第1回)

## I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについて、インターネットによるアンケート調査を2017年10月に実施し、その結果を取りまとめたものです。  
(回答数:1,500件)

## II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

### 1 「全期間固定型」の希望割合が減少し、「変動型」の希望割合が増加<p. 3>

- ・「全期間固定型」は35.3%(前回調査:37.4%)に減少
- ・一方、「変動型」は27.2%(前回調査:25.3%)に増加
- ・「固定期間選択型」は37.5%(前回調査:37.3%)と、ほとんど変わらず

### 2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が増加<p. 4>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「ほとんど変わらない」が43.2%(前回調査:38.3%)に増加
- ・一方、「現状よりも上昇する」の割合は、30.1%(前回調査:34.0%)に減少

### 3 住宅の買い時意識がやや低下<p. 7>

- ・今は住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ方の割合は、41.2%(前回調査:41.9%)とやや減少
- ・住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が76.9%(前回調査:83.3%)と多く、次に「消費税率引上げ前だから」が45.0%(前回調査:33.3%)